

令和6年度 宇佐市興農会被表彰者

(敬称略)

No.	表彰区分	氏名・団体名	住 所	功 績 等
1	農業後継者	まつなが なつき 松永 夏希	大字山本	祖父母、両親とともに米・麦・大豆の土地利用型農業を行いながら、自らは農業大学校で学んだニンニク栽培を1ha作付けするとともに、ビニールハウス30aで様々な野菜作りを行っている。 また、地区の保全組合役員を担い地域にも貢献している。
2	農業後継者	みやた のりよし 宮田 律芳	大字南宇佐	令和3年まで会社勤めをしながら両親が営むみかん園を手伝っていたが、45歳で退職し専業農家となる。みかんバエ抑制にも積極的に取り組むとともに、水稻・麦の栽培も行っている。
3	農業後継者	むらもと としや 村本 俊哉	安心院町西衾	配偶者の両親からぶどう園を承継し就農する。加温ハウス・無加温ハウスの作型に、デラウェア・シャインマスカット・ピオーネなどを栽培し、安心院地域でもトップクラスの品質を誇っている。
4	農業後継者	そのだ なおひこ 園田 直彦	安心院町中山	21歳で両親のぶどう園に就農。加温ハウス・無加温ハウスの作型に、シャインマスカット・ピオーネ・クインニーナを栽培する。JA安心院ぶどう部会の副部会長を務めたこともあり、現在は、同部会研究部の副部長を務めるなど中心的人物となっている。
5	優良生産者 農 家	すえさだ せいじ 末貞 誠司	大字下敷田	長年、米・麦・大豆の土地利用型農業を経営する。ほ場の雑草対策・間断かん水・農薬の適正使用を率先垂範し、風水害・病虫害防除などの異常時の連絡体制を構築するなど、農家のリーダー的存在である。 地区の土木総代などを長く務め、平成30年からは平田水利組合総代を務めている。
6	優良生産者 農 家	なかやま しんじ 中山 伸司	大字南敷田	主に小麦を栽培し、令和6年産を約1.7ha増やす。栽培技術の向上を図りながら、適正な栽培管理を実施することで収量増につながっている。 水利委員や土木総代など地区の要職を歴任しており、農業委員を1期3年、現在は土地改良区理事を務めている。
7	優良生産者 農 家	おく ひろゆき 奥 博之	大字富山	地域の担い手として中心的な役割を果たしている。農地の集積も積極的に行い、大型機械を導入し効率的な農業を実践する。 地区の土木総代などの役員を20年以上務め、また、認定農業者組織うさファーマーズに設立当初から加入するなど地域はもとより市の農家の模範となっている。

令和6年度 宇佐市興農会被表彰者

(敬称略)

No.	表彰区分	氏名・団体名	住 所	功 績 等
8	優良生産農家	きふく まさよし 貴福 昌禎	大字城井	地権者からの依頼に応じて米・麦・大豆を糸口、高家、柳ヶ浦、駅館の広範囲で栽培している。特に小麦の栽培面積をこの2年で6ha増やしている。計画的に大型機械導入を図るなど作業効率の向上に努めており、今後も農地の集積が期待される。 農用地改善委員を現在まで務めるなど地区の農業者の中心的人物である。
9	優良生産農家	さとう としのり 佐藤 俊徳	大字上田	平成10年に親の米づくりを手伝うところから農業を始め、平成22年から専業農家（認定農業者）となる。7haから始めた耕作面積は、現在12haとなっている。 出身地の院内地域のほかに、長峰などの離れたほ場の耕作を依頼され、栽培に励んでいる。 昨年まで、農業委員を1期務めた。
10	優良生産農家	よしだ あきひろ 吉田 明広	大字上庄	若くして父を亡くし、兼業農家として承継した。1haから始めた営農は、耕作が困難になった高齢者から委託され、その営農面積を増やしている。 この数年で水稻と小麦の耕作を約3倍に増やすなど、令和7年に達成するよう設定していた目標値を既に超えている。
11	優良農業生産法人	有限会社 なかみち 中道	大字住江	平成14年4月1日法人設立。主食用米・飼料用米・二条大麦を中心に作付を行う。白ねぎの栽培も行い、経営の多角化・多収益化を達成している。また、作業受託面積も多く、地域農業を牽引する農業法人である。
12	優良農業生産法人	株式会社 グリーン フィールド	大字 高砂新田	平成21年8月3日法人設立。主食用米・二条大麦を中心に飼料用米・青刈りとうもろこしなどの飼料用作物を栽培する。市内で最大の飼料生産コントラクター（農作業受託団体）として、多くの農家から農地を集積している。